

支援事例紹介

返済方法を見直したお客様の声（事例紹介）



今回は、当協会がモニタリングを行う中で、返済方法の見直し(条件変更)を行った事例を紹介します。
新型コロナウイルス感染症や物価高の影響により資金繰りが厳しい中で、返済の見直しをご検討されている、または、どのような対策をとったらよいかわからないというお客様は、お気軽にご相談ください。

Case1 A社：アルミテラス、カーポート販売施工会社

【経緯】

A社は、コロナ禍にあっても安定した受注を継続しており、返済は当初契約通り返済していました。しかし、返済が始まる頃から物価高により新規受注が落ち込み、資金繰りが想定よりも悪化していました。以前に、当協会職員が事業所を訪問し、条件変更の案内をしていた経緯もあり、当協会へ条件変更の相談を行い、金融機関との調整を経て返済方法の見直し(元金返済の据置)を行いました。

【お客様の声】



資金繰りが悪化していく中で、保証協会が銀行との調整の間に入ってくれたことでスムーズに条件変更の手続きを進められました。

Case2 B社：和食の創作料理店

【経緯】

B社は、コロナ禍に創業しましたが、当初計画を下回る売上実績だったため資金繰りが厳しい状態にありましたが、創業時に借入した融資は返済を継続していました。そのような時に当協会からの条件変更案内の通知が届いたことをきっかけに当協会へ返済の見直しの相談を行い、金融機関との調整を経て返済方法の見直し(元金返済の据置)を行いました。

【お客様の声】



当初、想定していたよりも売上が伸びず悩んでいた中で、資金繰りは非常に厳しい状況でした。コロナ融資を受けた直後のため銀行に条件変更を相談してよいか躊躇っていたが、保証協会からの通知をきっかけに条件変更を行い資金繰りに余裕を持てるようになりました。

※条件変更手続きには審査がありますので、ご希望に添えない場合があります。ご了承ください。

【お問い合わせ先】

沖縄県信用保証協会 経営支援部 経営支援課 企業支援第二係

担当:津波、酒井、奥原、佐久本

TEL:098-863-5310 E-mail:keieishien@okinawa-cgc.or.jp



HP



LINE